



## Contents

1. 社長室から、こんど~です
2. 経営まめ知識：『世界経営者会議について』
3. FZC：実効金利って!!!



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・・・・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)エイビスアソシエイツ・・・・・・・・ 記帳代行、給与計算 <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)船井財産コンサルタンツ熊本・・・企業再生、相続、不動産 <http://www.fzc-souzoku.com>
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・・生命保険、損害保険 <http://www.14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・・・・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・・・・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・今井税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所  
社会保険労務士あきお事務所・URABE 社会保険労務士事務所・村上司法書士事務所・的場土地家屋調査士事務所  
行政書士法人エド・ヴォン

## 社長室から、こんど～です

皆様こんにちは。もう11月だというのに、なぜか少し例年よりは暖かいような気がします。油断していると急に寒くなりますので、風邪などひかないようにご注意くださいませ。

さて、先月帝国ホテルで行われた世界経営者会議に参加してまいりました。二日間にわたり世界の経営者がいろいろな話をします。韓国サムスン電子のイ・ユンウ副会長、フェラガモのフェルッチオ・フェラガモ会長、レノボ・グループのヤン・ユアチンCEO などなど、世界を代表する企業の経営者、日本からは武田薬品工業、損保ジャパン、セブン&アイ・ホールディングス、森ビル、新日本製鐵の経営者が参加していました。

私は10年くらい前にもセブンイレブンの鈴木敏文さんのお話を聞いたことがあります。今回が二回目で、どんなお話をされるのかとても楽しみにしておりました。鈴木さんは本も書かれていますので、本も読んでいます。今熊本ではまだまだですが、ネットスーパーについてちょっとお話しさせていただきます。



セブンのネットスーパーはイトーヨーカドーです。ネットお取り寄せで素晴らしいのはアマゾン（何でもあります）、お酒飲料ではカクヤスと有名ですが、ヨーカドーのネットスーパーはまだ誰も始めていないところに始められて3年前から利益が出ているとの事です。鈴木会長曰く、「ネットで選ぶことに消費者の皆さんは勘違いをしている。“どんな商品が来るか心配だから注文しない”は違います。注文があった時に品物を選ぶのはプロが選ぶのだから、素人の目で見ても買うのよりはいい商品が届く。」とのこと。なるほどと思いました。

私は東京にいるときは水、飲料はカクヤス、他のものは24時間あいているスーパーを利用しています。セブンネットをいつか利用してみようと登録はしておりました。そこで鈴木会長のお話を聞き、早速お買い物してみました。野菜、お肉、日用品、と何でもあります。手数料はわずか80円。ネット上で買い方がわからないときは、コメントのところに欲しいものを書いておけば、持ってきてくれます。手数料の80円は、ガソリン代よりもバス代よりも安いし、重いものを持たなくてもよいので便利です。また商品が欠品しているときは、実際の物以上のものをお届けするそうです。

そこで若い人はネットが出来るからそれでもいいかもしれませんが、高齢化社会に向けてどうなるのがこれからの課題です。必ず、お年寄りも簡単に出来る方法（テレビの画面からする）などが浸透してくると思います。これからのセブンは若い人が行くセブンではなく、近くにあり便利な、お年寄りも利用できる店舗へと商品構成も少しずつ変わってきています。

セブンイレブンを創り、セブン銀行を創り、ネットスーパーをはじめ、日本人の生活にはあって当たり前になっています。鈴木会長はこれからはITとリアルとお話しされていました。78歳にしてこの考え方に感動しました。

全体的に見て世界の経営者は若いです。日本の経営者とは10歳から20歳違います。それが心に残りました。もっともっと勉強しなくてはなりません。ありがとうございました。  
(株)大成経営開発社長 近藤 記



社長ブログ：近藤社長の体と会社のダイエット日記  
毎日更新しています！是非読んでください！  
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

## 経営まめ知識：『世界経営者会議について』

早いものでもう 11 月です。朝晩は、日本全国肌寒くなったみたいですね!! 全国各地から寒くなったとメールが入ります!!

ところで先月 24～25 日にかけて日本経済新聞社主催の世界経営者会議が、帝国ホテルで行われました。今年で 13 回目だそうです。第 1 回のジャク・ウェルチ、その後の大会でマイケル・デル、カルロス・ゴーン、柳井正さんなど颯爽たるメンバーが、今年も登壇されました。毎年の事ですが、パワーポイント資料をプロジェクターで世界地図などを広げながら、現在の世界の状況や日本の状態などを解説したり事業展開を説明されたりします。キーワードは、不安定・不確実性・変化のスピード・ICT（情報通信技術）・人口・新興国・食糧・原料・異常気象などでしょうか？ 13 年前よりキーワードが増えたみたいです。13 年前は、不安定・不確実性・変化のスピード・IT（情報技術）でした。ところが上記の様に ICT・人口・新興国・食糧・原料・異常気象と不安定かつ不確実性を生む項目が現実列挙された形になっています。



### キーワード

不安定・不確実性・変化のスピード・ICT（情報通信技術）・人口・食糧・原料・異常気象

20 世紀は、先進国人口約 10 億弱の人たちの時代でした。21 世紀初頭は、先進国と言われる国々の人たち+新興国約 40 億の時代となりました。合計 70 億です。先月 10 月に世界人口は 70 億を超えたそうです。今までは先進国と言われる 10 億弱の人たちが、食料や原料などの多くを消費してきました。今後は経済成長して所得が上がってきた新興国の人たちも、食料や原料の消費が先進国同様に始まっています。したがって、世界的に食料や原料の高騰が、常態化してきています。この流れは今後変わらないでしょう。

また、アメリカ・ヨーロッパ・日本などの先進国は、実質債務超過の状態で見込むどころか破たんの懸念さえあります。先進国は、経済成長が見込める新興国に今まで以上に投資を始めています。この流れも 21 世紀の間、当分続きそうな流れです。

ところで今現在の GDP（国内総生産・付加価値）は、アメリカを 100 とした場合、ヨーロッパ 90、東アジア（アセアン+日本・韓国・中国）85 だそうです。あと 5 年で東アジア経済圏は、アメリカの GDP を抜くそうです。これにインドなどを入れたアジア圏は、人口約 40 億です。世界人口の 60%弱がアジアにいます。

今回の世界経営者会議で世界の経営者が、アジアを世界の経済成長センターとして捉えている事がハッキリしていました。日本は、実質 20 年以上ゼロ成長に等しい状況です。このような時代に私たちも日本だけに籠ることはなく、まずアジアをしてみるべきではないでしょうか？ そうする事によりアジアの成長を肌で感じる事ができるのではないのでしょうか？ 弊社顧問先様など毎月ベトナム視察へ行かれている状況です。視察や進出相談などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

（熊本事務所にて 大成経営コンサルティンググループ会長 石本 記）



会長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記  
毎日更新しています！是非読んでください！  
<http://www.taisei-go.co.jp/blog>

## FZC：実効金利って!!!

皆様は、融資を受けている銀行から、「預金をしてください。」と言われたことはありませんか？

今回は、銀行が教えてくれない 表面金利 と 実効金利 についてお話したいと思います。銀行からお金を借りたら、毎月の返済額と一緒に“利息”を支払ってますよね。その“利息”を計算するのに、“金利”というのがある事は、皆様ご存じかと思います。これを表面金利と言います。

銀行は、融資の金利を一般的にこの表面金利だけでは見ていません。表面金利と共に、銀行は“実効金利”という見方を行っています。

### 実効金利とは？

皆様の会社は、銀行から融資を受けている場合には、利息を支払い、またその一方で、銀行へ預金を行い、預金利息を受け取っています。

### 融資と預金

実効金利とは、“支払った利息と受け取った利息”“融資総額と預金”で計算します。

#### 【計算式】

$(\text{支払利息} - \text{受取利息}) \div (\text{融資残高} - \text{預金残高}) \times 100 = \text{実行金利}$

借入金 8,000万円 年間支払利息 200万円 金利 2.5%  
預金残高 2,000万円 年間受取利息 2万円 金利 0.1%

$(200\text{万円} - 2\text{万円}) \div (8,000\text{万円} - 2,000\text{万円}) \times 100 = 3.3\%$

つまり、銀行は皆様の会社から、実質的には6,000万円を融資し、198万円の利息を支払っていることになる。2.5%の金利で融資を受け取ったと思っていたのが、実際は、3.3%の金利になっている。この金利の事を実効金利と言います。

そうです。銀行はこの実効金利を上げたいと思っているのです。

実効金利を上げるには、

- ① 融資金利を上げる
- ② 預金金利を上げる
- ③ 預金残高を上げる



もう一度質問です。融資を受けている銀行から「預金をしてください」と言われた事はありますか？

ご相談は・・・

株式会社 船井財産コンサルタンツ熊本 担当：岡村  
お問い合わせ 096-377-1106  
ホームページ 九州相続相談センター で検索

#### 編集後記：

ついに繁忙期に突入した弊社。毎年のことながら、来春まではいっぱい日々の日々が続きます。  
早く春が来ないかな。はーるよ来い♪

はなこ